

令和7年7月9日（水曜日）

豊後高田市立真玉中学校 河野 由依奈先生の授業です。

授業の単元は、第3学年「二次方程式」。野球のリーグ戦といった日常生活や社会の事象を題材とし、総試合数をもとに参加チーム数を求める具体的な場面で、二次方程式を活用する授業でした。

授業では、リーグ戦の表を基に立式の方法を考えるグループ、リーグ戦の試合数を二次方程式を活用して求めるための手順を考えるグループ、因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察するグループの三つのグループに分けて取り組ませる様子が見られました。

それぞれのグループで考えを深めた生徒が、お互いの考えをもちより、考えを練り上げていくことができるよう、グループ活動を生徒に委ねていました。その場面で、授業者は、机間指導を行う中で、話し合いが停滞した際にグループへの支援を適宜行うようにしていました。

事後研には、管理職の先生や他校の数学の先生も参加し、生徒が納得し理解を深めるための授業展開の工夫や多様な考え方を引き出すための授業の進め方等について協議を行いました。様々な意見にしっかりと耳を傾ける姿勢に、これからの自身の授業に生かそうという意欲が感じられました。ぜひ、今後も授業における学習形態の工夫などを積み重ね、生徒にとって楽しくて分かる授業を続けてください。

